

2025年度

第59回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト＜大学部門／職場・一般部門＞ 静岡県大学・職場・一般アンサンブルフェスティバル

開催要項

1. 概要

- (1) 名 称 第59回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト＜大学部門／職場・一般部門＞
(第52回東海アンサンブルコンテスト予選／第49回全日本アンサンブルコンテスト予選)
2025年度静岡県大学・職場・一般アンサンブルフェスティバル
- (2) 開催日時 2026年1月25日(日) 10:00開場、10:30開演 16:30終演(予定)
(エントリー数により開場、開演、終演時間に変更になる場合があります。)
- (3) 会 場 掛川市文化会館シオーネ 大ホール(静岡県掛川市大坂7373番地)
- (4) 主 催 静岡県吹奏楽連盟／朝日新聞社
- (5) 主 管 静岡県大学・職場・一般吹奏楽連盟
- (6) 後 援 東海吹奏楽連盟
- (7) 審査員 織田 浩司 (サキソフォン奏者・洗足学園音楽大学講師)
近藤 陽一 (チューバ奏者・東京交響楽団)
広瀬 勇人 (作曲家)
満江 菜穂子 (クラリネット奏者・昭和音楽大学講師・東京藝術大学講師)
宮本 弦 (トランペット奏者・名古屋フィルハーモニー交響楽団)
(敬称略、50音順)
- (8) 参加資格 本連盟実施規定に基づく
- (9) 参加人数 同 上 コンテスト:3名以上8名以下 フェスティバル:2名以上20名程度まで
- (10) 演奏曲目 同 上
- (11) 演奏時間 同 上 コンテスト:5分 フェスティバル:5分程度(出場グループ数により調整)
- (12) 演奏順 演奏は部門ごと以下の順番とし、人数の少ないほうから順に並べていきます。なお、同一編成がある場合には、本年度は中部→西部→東部の順番(年度ごとに変更)とします。ただし、打楽器アンサンブル等は搬出入をスムーズに行うため演奏順を配慮します。同一編成・同一地区のエントリーがあった場合は理事会で演奏順を決定します。
- 東海アンサンブルコンテストは、ランダムでの演奏になりますが本大会は例年通りの演奏順を採用いたします。なお、代表団体は大会当日に演奏順の抽選を行います。

本年度の演奏順(運営上変更になる場合があります。)

大学部門	混成→金管→木管→打楽器
職場・一般部門	打楽器→混成→金管→木管

- (13) 表彰 本連盟審査内規に順じ、部門毎に金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与します。
各部門1位のグループには「朝日新聞社賞」、第2位のグループには「鈴木賞」(※)を授与します。また、フェスティバル参加グループの中から1グループには審査員の推薦により、「ベストパフォーマンス賞」を授与します。

※ 「鈴木賞」： 2012年3月に逝去された元理事長 鈴木茂樹氏の長年にわたる吹奏楽連盟への功績を称え、理事会で決定し設けられました。

(14) 静岡県代表団体

東海アンサンブルコンテストに出場する静岡県代表団体数は、東海吹奏楽連盟から指定された団体数とし、その団体は金賞受賞団体から選出します。なお、同一団体からは2グループを限度とします。(11月29日、東海吹連理事会にて決定)

大学部門	：	最大*グループ
職場・一般部門	：	最大*グループ

【第52回 東海アンサンブルコンテスト】

日程： 大学 小学生 中学生部門 2026年2月14日(土)

職場・一般 高等学校部門 2026年2月15日(日)

会場： キッセイ文化ホール

〒390-0311 長野県松本市水汲69-2

(15) フェスティバル参加団体へのコメント

フェスティバル参加団体には、講評用紙にて審査員のコメントがあります。

(16) 参加費 コンテスト :演奏者1人あたり 2,000円

フェスティバル :演奏者1人あたり 1,100円

フェスティバルでピアノを使用する場合は、使用するグループで負担していただきます。

支払方法は振込とし、詳細は各参加団体に配布する参加要項にてお知らせいたします。

(2026年1月16日(金)締切予定)

(17) 著作権使用料等

著作権協会との間で著作権の包括的利用許諾契約を結んでいるため、著作権使用料は演奏曲ごとに掛からず、アンサンブルコンテストに対して著作権使用料が発生します。

このため、著作権使用料は連盟で負担します。

(18) 交通費等 参加に要する交通費は、参加団体で負担してください。

参加に伴う傷害・交通保険への加入は、各参加団体の判断で行ってください。

なお、当連盟では事故発生時の責任を負いかねますので、保険への加入をお勧めします。

(19) 入場料 無料

(20) プログラム 各参加団体代表者宛に電子データにて送付します。

一般来場者には、一部100円で販売いたします。

(21) 大会参加にあたって

大会参加にあたっては、アンサンブルコンテスト実施規定、フェスティバル実施規定、申合せ事項(連盟ホームページ参照)をご確認いただきますようお願いいたします。

<http://www.ajba.or.jp/shizuoka/daisyokuichi/kiyaku.html>

(22) 撮影、録音について

原則、ホール内での写真及びビデオ撮影、録音は禁止します。カメラ付携帯電話やスマートフォン等での撮影、録音も禁止です。

2. 参加申込方法 オンラインのみとなります。 (資料1 参加申込書フォーム入力手順をご覧ください。)

STEP 1. Webからエントリーしてください。 ※11月29日開設、12月24日締切 入力は 7:00~24:00

- ① 資料1 参加申込書フォーム入力手順をご覧ください。
- ② 静岡県吹奏楽連盟 HP にアクセスして必要事項を入力してください。
<http://www.ajba.or.jp/shizuoka/>
- ③ 全て完了すると返信メールが届きます。メール内の URL をクリックし参加申込書をダウンロードして印刷してください。これが正式な参加申込書となります。
※ メールアドレスは企業や学校のアドレスの場合、ゲートウェイで削除される可能性がありますので、使用をお控えください。
- ④ 上記参加申込書に大学は顧問又は学生部長等(学校の許可)の印、職場一般においては連盟に登録されている代表者の印を押印して当日受付に提出してください。



STEP 2. 次の提出書類をご用意ください。

- スコアの表紙(出版社、曲名、作曲者、編曲者、楽器編成がわかるページ)
スコアが無い場合は、全パートの1ページ目
- 演奏許諾書(レンタル譜使用団体)
- 編曲許諾書(著作権保護期間にある楽曲を編曲して演奏する団体)
指定以外の楽器の使用や編成の変更(10重奏→8重奏など)も編曲扱いになります。

ご注意: 参加申込書は当日受付に提出してください。

編曲許諾書は出版社によっては発行されるまで時間がかかる場合があります。この時は、申請している事が分かるメールなどを添付してください。なお、大会当日までに許諾書が提出されない場合は表彰対象から除外します。

フェスティバルに参加するグループで曲名や演奏者名簿など Web 内に書ききれないことがある場合はメールにてお知らせください。

書類送付

STEP 3. 提出方法

上記書類(STEP2)をメール添付の上、2025年12月24日(水)必着で提出してください。
書類が揃わない場合、エントリーは無効となります。

なお、申し込み書類はメールのみ受け付けます。

メール送付先	静岡県大学・職場・一般吹奏楽連盟 事務局 木村栄里 宛 shizuoka.suiren@gmail.com
--------	--

STEP 4. 当日の提出物など

- 参加申込書 Web 申込み時にダウンロードした参加申込書に、大学は顧問又は学生部長等(学校の許可)の印、職場・一般においては連盟に登録されている代表者の印を押印して提出してください。
- ステージオーダー表(1部) 後日発表する参加要項をご確認ください。

STEP4 の当日の提出物については「参加要項」(1月5日前後発表予定)でご確認ください。

- ☆ 参加費 参加要項をご確認の上、期日までに指定の方法で振り込みをお願いします。
- ☆ 打楽器グループについてはエントリー確認後に使用楽器などの調査票を事務局より送らせていただきます。調査票の内容を検討した上で演奏順を決定します。運営の都合により演奏順が前後する場合があります。

3. その他

(1) 駐車場 駐車場には限りがありますので出来るだけ相乗りをお願いします。

(2) 注意事項

- ① 客席内での写真及びビデオ撮影・録音は禁止します。
- ② 館内での飲食はできません。
- ③ 敷地内は全面禁煙です。
- ④ 母子室は利用できません。
- ⑤ 客席内への未就学児童の入場はお断りします。
- ⑥ 楽器やケースの管理は出場団体の責任で管理をお願いします。
- ⑦ 管楽器の水抜き用ペットシートは各自でご用意いただき、必ずお持ち帰りください。
- ⑧ 感染症対策については、各個人の判断にてお願いします。

(3) 問い合わせ先 静岡県大学・職場・一般吹奏楽連盟 事務局
木村 栄里 宛
E-mail:shizuoka.suiren@gmail.com

アンサンブルコンテストでの楽曲演奏について

静岡県吹奏楽連盟事務局

【大前提】どのような曲も楽譜に指定された楽器および編成で演奏すること。

① 編成や楽器の変更は編曲行為にあたる

楽譜と異なる方法で演奏する場合には、その曲の著作権がある時には著作権者（外国曲の場合には日本での代理店）の承諾を得なければなりません。ところが特に外国曲の場合、こうした申請に対してすべて許諾書を出すということは膨大な数になるため、事務手続上不可能です。従って、日本の代理店（代理店がない場合には海外の著作権管理者）はこうした申請に対して承諾書を出していません。つまり、編成や楽器を変更して演奏させて欲しいという要請には基本的にはOKとは言ってくれません。自身で編曲したスコアを提出し、編曲許諾申請をするのであれば話は違ってきますが・・・。

現状ではコンクールの課題曲における代替楽器の使用や楽曲のカットなど、本来は著作権に触れるような部分を暗黙のうちに容認してきたこともあり、アンサンブルコンテストにおいては編成や楽器の変更はこれらと同様に暗黙のうちに容認されてきました。コンクールやコンテストという特殊な場であること、中学や高校では教育活動の一環として行われていることなども考慮されているようです。ただし、原則は「楽譜に指定された編成・楽器で演奏すること」であることを忘れないでください。

なお、編曲や編成変更等の承諾は正式な文書（メールでも可）でもらうことが望ましいのですが、電話等口頭で承諾を得た場合にはいつ（何月何日の何時）誰と交渉したのかを正式申込みを行う際に担当事務局に必ず文書で報告してください。

② 原曲と異なる人数で演奏することも①と同様である

原曲で指定された人数より多い人数で演奏することは次の③に抵触しますので認められませんが、原曲で指定された人数よりも少ない人数で演奏することも編曲行為にあたると考えられますので、著作権が存在する曲の場合にはどのようにして演奏するのかをスコアで示し、著作権管理者の許諾を得る必要があります。現在、アンサンブルは8名までとなっていますので、著作権が存在する金管十重奏の曲（「葡萄酒を讃えて」「ロンドンの小景」など）を8名で演奏する場合には著作権管理者に許諾を得る必要があります。但し、場合によっては許諾が得られないこともあります。

③ 1つのパートを2人で演奏することは不可

これは規定で禁止されています。特に打楽器アンサンブルの場合、1人では演奏困難なために1パートを2人で演奏することが考えられますが、これはアンサンブルコンテストの実施規定違反ですので認められません。どうしてもアマチュアでは演奏不可能なので、1パートを2人で演奏したい場合には編曲をしてスコアを著作権者に提出し、その許諾を得ることになります。単に1パートを2人で演奏したいと申し出ても、①と同様に許諾書は出してもらえません。

④ ブレーン株式会社出版のアンサンブル作品の取り扱いについて

ブレーン出版のアンサンブル作品の取り扱いが2019年7月8日より一部変更になりました。詳細は同社HPに記載されていますが、原則は出版された編成通りです。やむを得ず出版の編成を変更する場合は、許諾を取っていただく形となりますが、同社についてはHPの1部を印刷して提出することで許諾書に変えられることとなります。ただし許諾できない作品もありますので注意してください。編成を変更する場合には、元の編成をプログラムへ記載することとなります。

同社出版のアンサンブル作品、編成変更、カットにつきましては同社HPに記載がありますので、そこを参照してください。条件が満たされない場合は変更が承諾されません。曲目決定前、エントリー前に必ずご確認ください。

はじめに

1. 静岡県吹奏楽連盟ホームページから「アンサンブルコンテスト申し込み」を選択し「静岡県吹奏楽連盟各種申込ページ」をクリックしてください。
2. 出場大会:「静岡県アンコン:大学職場一般」または「静岡県アンコン:大職一フェスティバル」を選択。
3. パスワードを入力してください。パスワードは、加盟団体一斉メールでお知らせしております。
4. 「送信」をクリックしてください。
5. 送信が終了すると「入力フォーム」が表示されます。

フォーム入力手順

入力時の注意

入力の際、1バイトのカナ文字(いわゆる半角カタカナ)、コンピュータの機種に依存する文字(丸囲み数字, ローマ数字など)は使わないでください。特に楽章を表すローマ数字にはご注意ください。(アルファベットのI・Vを使用のこと)

1. 部門1は、非入力項目です。
2. 編成は、スコアに記載されている編成名を記入してください。コントラバスを使用する場合は備考欄に「コントラバス使用」と入力してください。

☆ 編成の表記について(例)

プログラム表記	楽器編成	略称
フルート四重奏	Fl.1 Fl.2 Fl.3 Fl.4	FL4
クラリネット五重奏	E♭ Cl. B♭ Cl.1・2・3 BassCla.	Cla5
サクソフォン四重奏	S.sax A.sax T.sax B.sax	Sax4
木管五重奏	Fl. Ob. Cl. Hr. Fg.	木5
金管五重奏	Tp.1 Tp.2 Hr. Tb. Tuba	金5
ユーフォニアム・ チューバ四重奏	Eup.1 Eup.2 Tuba1 Tuba2	BT4
打楽器四重奏	Per1 Per2 Per3 Per4	打4
混成五重奏	Fl. Cl. A.sax T.sax CB.	混5
混成六重奏	Cl. A.sax T.sax Tp. Eup. S.D.	混6

本大会は、管楽器奏者の持ち替え打楽器がある場合は「管楽器編成」、打楽器パートが独立している場合は、「混成」とします。ただし、使用する打楽器の種類や数が打楽器アンサンブルと同等と判断される場合、理事会に諮り打楽器アンサンブルに準じた出演順とする場合があります。

ご注意:プログラム表記は事務局にて統一させていただきます。

3. 演奏者1～8は必ず入力してください。ここでの入力、重複参加の有無を確認する以外には使用しません。演奏者名の順番はどのような順番でも構いません。演奏者名とともにパート名(基本的には担当楽器名)も記入してください。(フェスティバル参加グループは備考欄に入力してください。このとき次の人との名前間にスペースを入れてください。人数が多い場合はメール添付で送ってください。)プログラム掲載の可否については、別項目での入力になります。
4. 団体名は、正式名称を記入してください。ここで記入した団体名が賞状や放送原稿で使用されます。
5. 演奏曲目の曲名(自由曲名)は、外国曲の場合、必ず原題を原語で記入してください。音楽著作物使用申請をする際に事務局で必要となりますのでご協力ください。また、組曲のような場合には、楽章ごとの標題について、日本語名および原語名を記入してください。標題がない場合には第何楽章または第何曲という表記で構いませんが、アラビア数字なのか、ローマ数字なのかの区別は明確にしてください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語は、すべて英語表記としてください。曲名、作編曲者名等を原語で表すことが困難な場合(英語以外の外国文字、漢字の旧字体など)は、適当な当て字を使いその旨を備考欄に記入してください。
6. 作曲者・編曲者は、必ずフルネームを日本語と原語で表記してください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語はすべて英語表記としてください。
7. 未出版の楽譜を使用する場合は「Manuscript」と記入してください。
8. 補助員数は補助員予定数を入力してください。特に打楽器グループは出来るだけ補助員を確保し入退場に支障がないようにしてください。
9. 椅子・譜面台・ピアノいす・電源使用は必要数、使用の有無を選択してください。数の変更などは当日でかまいません。
10. 備考欄は特記事項や連絡事項を入力してください。
フェスティバル参加グループは演奏曲目、演奏時間、出場者(団体名など)を入力してください。フェスティバルの演奏時間は5分程度となっています。参加グループ数により演奏時間の調整をお願いする場合があります。入力しきれない場合などは別途添付資料で事務局まで送ってください。
11. 申込者 e-mail は PDF ファイルを確実に受取れる方を申込者として登録してください。
12. 録音の許諾・ビデオ収録の許諾・写真の許諾については、現在業者が入る予定はありませんが今後録音・撮影の依頼が来ることも考えられますので念のため各グループで意思表示をしてください。
13. 上位大会への参加意思は、する・しないを選択してください。
14. プログラムへの氏名記載は、する・しないを選択してください。
15. 出演順は非入力項目です。
16. バス・トラック・乗用車は、予定台数を入力してください。
17. 全て完了すると返信メールが届きます。メール内の URL をクリックし参加申込書をダウンロードして印刷してください。これが正式な参加申込書となります。大学は顧問又は学生部長等(学校の許可)の印、職場一般においては連盟に登録されている代表者の印を押印して当日受付に提出してください。
18. 入力ミスや修正が必要な場合は再度手続きするか修正内容を事務局までお知らせください。
19. 打楽器グループ、フェスティバル参加団体にはエントリー完了後搬入方法や使用備品について個別に連絡させていただきます。

静岡県吹奏楽連盟

会 長 池田 将章 様

参加団体名を記入

代表者名または顧問名を記入

(印は不要)

第59回静岡県管打楽器アンサンブルコンテストの演奏者変更について(報告)

標記の件について下記のとおり変更しますので、御報告いたします。

記

1. 団体名および編成名

<例> ○○○○アンサンブル クラリネット八重奏

2. 演奏者の変更(注. 担当パート名、変更前→変更後の順で記入)

<例> 1st クラリネット 吉田圭子 → 佐藤恵子

3. 変更の理由

<例> 1st クラリネットを担当する予定であった吉田圭子が、風邪による発熱で出場ができなくなったため。

4. 連絡先(注. 事務局から連絡する方の名前を記入、電話番号は携帯電話)

<例> ○○○○アンサンブル 青山茂樹 電話 090-9999-9999